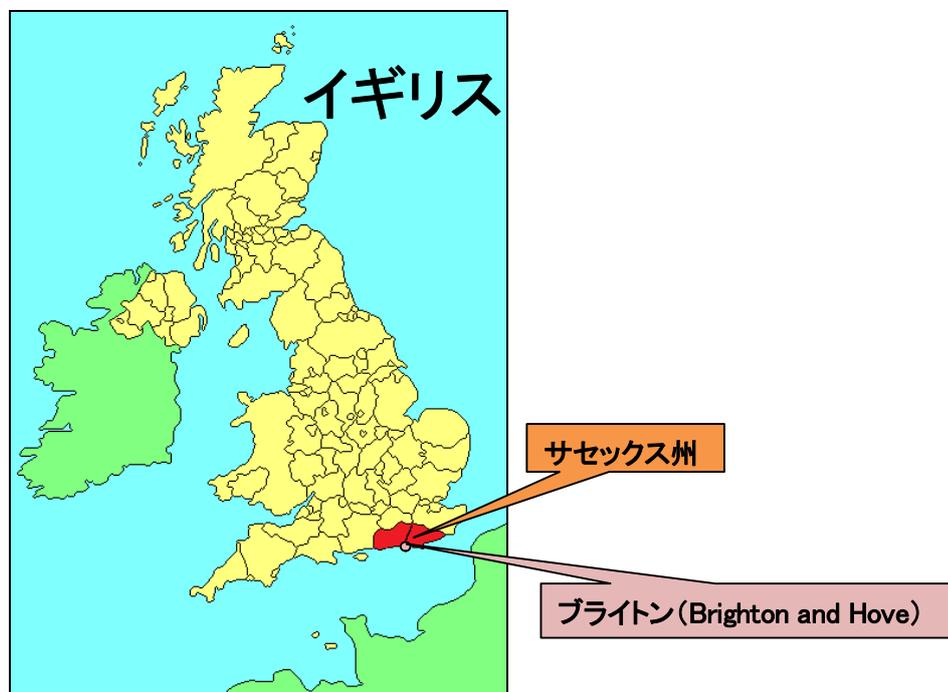


# イギリスで流行性耳下腺炎が流行

2010年7月24日 ProMED 情報 (The Argus, Brighton News)



これまでに、英国サセックス Sussex 州で流行性耳下腺炎患者 112 名が確定診断されました。昨年 1 年間では報告患者数は 139 名でしたが、今年は速やかにこの数字を超えると思われます。患者数が多い地域はブライトン (Brighton and Hove) 市で、患者 52 名が発生しました。これは昨年のほぼ 2 倍の患者数です。東部サセックスでは患者 39 名が発生しています。西部サセックスでは患者 21 名が発生しています。患者の多くは 20 代と 10 代の若者です。

医療関係者は、流行性耳下腺炎の流行は夏期休暇中に、さらに悪化すると警告しています。1 年のうち最も多忙な観光の時期を迎えて、何千人もの旅行者が同市を訪れると予想されています。

ブライトン市公衆衛生担当者は、今後 8 週間で患者数は更に増加するだろうと述べています。通常学童が感染する麻疹では夏期休暇中患者数が減少しますが、流行性耳下腺炎は増加するということです。

患者数の増加は、住民に MMR (麻疹、流行性耳下腺炎、風疹) ワクチン接種を確実に受けることを求めています。ブライトン市では、MMR ワクチン 1 回接種率は 82% で、2 回接種率は 69% です。世界保健機関 (WHO) が求めている一定の地域を守るために必要な予防接種率 90% よりかなり低い率です。